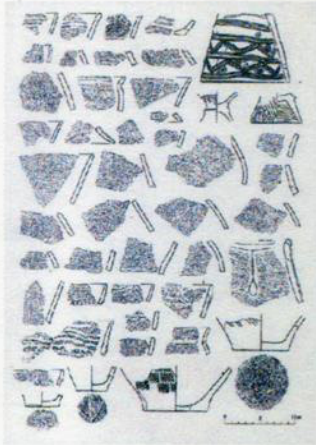


今熊野遺跡

高館丘陵から東側に突き出している箕輪丘陵の東端部に立地しています。東北本線名取駅の西2.7kmの地点に位置し、名取市高館川上字南台・北台・鴻ノ巣に所在します。

この遺跡は、昭和46～48年に亘って発掘調査が行われた結果、縄文時代～平安時代に亘る集落跡や方形周溝墓、古墳が台地をとりまく東北有数の複合遺跡であることがわかっています。弥生時代の遺構は、見つかっていませんが、弥生土器や石器が出土しています。

II-5-①



II-5-②

見つかった遺物の実測図

II-5-②

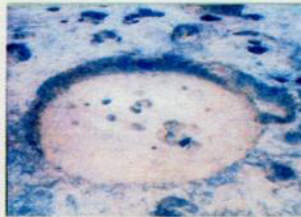
泉遺跡

高館丘陵から東側に突き出している野田山丘陵の南部に立地しています。東北本線館腰駅の北西2.5kmの地点に位置し、名取市愛島笠島字泉地内に所在します。

この遺跡は、平成7・8年に行われた発掘調査で、縄文時代～古墳時代、そして近世の遺構・遺物が発見されています。

弥生時代の遺構としては、竪穴住居跡2軒が発見されています。出土した弥生土器から弥生時代中期末～後期の住居跡と考えられています。

II-6-①



II-6-②-a

住居跡のようす

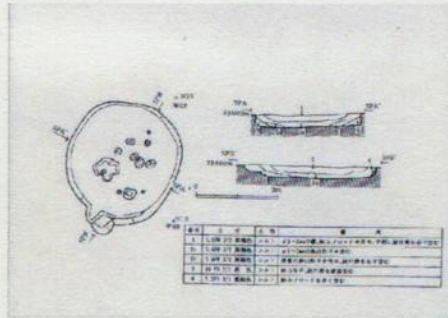
II-6-②-a



II-6-②-b

調査した部分のようす

II-6-②-b



II-6-③

住居跡の実測図

II-6-③



II-6-④

見つかった遺物の実測図(左下は、紡錘車)

II-6-④

弥生時代の人々の1年
(弥生カレンダー)

III-1



III-1